
第2章 学校施設の現状と課題

2.1 学校施設の現況

2.1.1 区立施設に占める学校施設の規模

【図表1】

施設種別	施設数	総延床面積(m ²)	
小中学校	99	639,699	54%
庁舎等	7	72,263	
子どもと青少年の施設	202	68,004	46%
区営住宅	22	63,009	
文化・生涯学習施設	24	49,465	
スポーツ施設	23	41,105	
地域の施設	49	35,291	
小中学校以外の教育施設	13	33,046	
障害者施設	23	22,127	
高齢者施設	23	19,599	
産業振興・勤労者福祉施設、集会施設	8	12,667	
清掃関連施設	6	12,071	
保健相談所	6	8,671	
区民事務所、出張所 1	15	6,513	
リサイクルセンター	4	3,526	
土木出張所、公園出張所	4	1,672	
総合福祉事務所 1	2	1,382	
その他の施設	164	105,472	
施設合計	2	694	1,195,583

出典：練馬区企画部

区立施設および区が保有する施設うち、
学校施設は区立施設全体の延床面積の
54%と大きな割合を占めています。

2.1.2 学校施設の延床面積

【図表2】

1 小学校		【単位：㎡】
	小学校名	延床面積
1	旭丘小学校	6,572
2	小竹小学校	5,371
3	豊玉小学校	5,868
4	豊玉第二小学校	4,885
5	豊玉東小学校	5,898
6	豊玉南小学校	7,783
7	中村小学校	6,946
8	中村西小学校	5,173
9	早宮小学校	5,596
10	開進第一小学校	6,827
11	開進第二小学校	5,745
12	開進第三小学校	6,961
13	開進第四小学校	5,833
14	仲町小学校	6,045
15	南町小学校	5,811
16	北町小学校	7,413
17	北町西小学校	6,911
18	練馬小学校	6,003
19	練馬第二小学校	6,595
20	練馬第三小学校	6,700
21	練馬東小学校	6,661
22	田柄小学校	6,341
23	田柄第二小学校	6,617
24	向山小学校	5,952
25	豊溪小学校	6,232
26	旭町小学校	5,981
27	高松小学校	6,240
28	春日小学校	4,658
29	光が丘四季の香小学校	6,119
30	光が丘春の風小学校	6,324
31	光が丘夏の雲小学校	7,398
32	光が丘秋の陽小学校	5,695
33	光が丘第八小学校	6,246
34	石神井小学校	6,614
35	石神井東小学校	5,994
36	石神井西小学校	5,126
37	石神井台小学校	5,293
38	上石神井小学校	6,370
39	上石神井北小学校	6,154
40	下石神井小学校	5,348
41	光和小学校	9,438
42	谷原小学校	8,593
43	北原小学校	5,469
44	立野小学校	5,441
45	関町小学校	6,938
46	関町北小学校	6,967
47	大泉小学校	6,529
48	大泉第一小学校	6,129
49	大泉第二小学校	6,725
50	大泉第三小学校	7,072
51	大泉第四小学校	6,276
52	大泉第六小学校	4,937
53	大泉東小学校	7,088

		【単位：㎡】
	小学校名	延床面積
54	大泉西小学校	5,717
55	大泉南小学校	6,265
56	大泉北小学校	5,659
57	大泉学園小学校	5,880
58	大泉学園緑小学校	5,301
59	大泉学園桜小学校	4,808
60	泉新小学校	4,702
61	橋戸小学校	5,392
62	南田中小学校	6,395
63	南が丘小学校	4,744
64	富士見台小学校	4,850
65	八坂小学校	5,339
小学校計		398,953

2 中学校		【単位：㎡】
	中学校名	延床面積
1	旭丘中学校	7,111
2	豊玉中学校	6,454
3	豊玉第二中学校	5,815
4	中村中学校	7,624
5	開進第一中学校	8,051
6	開進第二中学校	7,456
7	開進第三中学校	6,505
8	開進第四中学校	6,850
9	北町中学校	7,670
10	練馬中学校	7,902
11	練馬東中学校	7,018
12	貫井中学校	7,686
13	田柄中学校	7,322
14	豊溪中学校	5,310
15	光が丘第一中学校	6,590
16	光が丘第二中学校	6,765
17	光が丘第三中学校	8,617
18	光が丘第四中学校	6,829
19	石神井中学校	8,409
20	石神井東中学校	7,110
21	石神井西中学校	8,491
22	石神井南中学校	6,075
23	上石神井中学校	6,971
24	南が丘中学校	6,706
25	谷原中学校	6,801
26	三原台中学校	6,333
27	大泉中学校	10,962
28	大泉第二中学校	7,469
29	大泉西中学校	6,157
30	大泉北中学校	6,142
31	大泉学園中学校	6,650
32	大泉学園桜中学校	5,181
33	関中学校	7,263
34	八坂中学校	6,451
中学校計		240,746
合計		639,699

2.2 人口と学校施設数

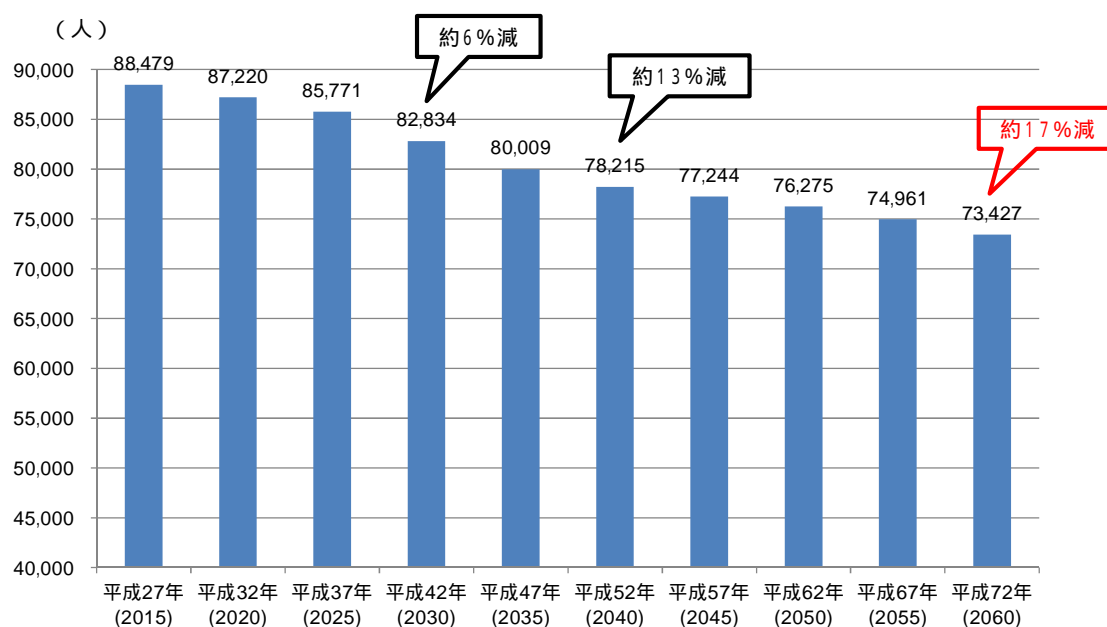
2.2.1 人口推計

(1) 総人口の推計

全国的には、既に人口減少局面に入っており、今後も一貫して人口は減少し続けると見込まれています。練馬区では平成30年代までは増加し、それ以降逓減するものの、減少率は全国に比べて緩やかで、30年後も約71万人と推計されます。

一方で、年少人口はこの先緩やかに逓減し、15年後の平成42年には約6%減、30年後の平成57年には約13%減、45年後の平成72年には約17%減となります。

【図表3】年少人口の推移



出典：練馬区ビジョン（平成27年12月）

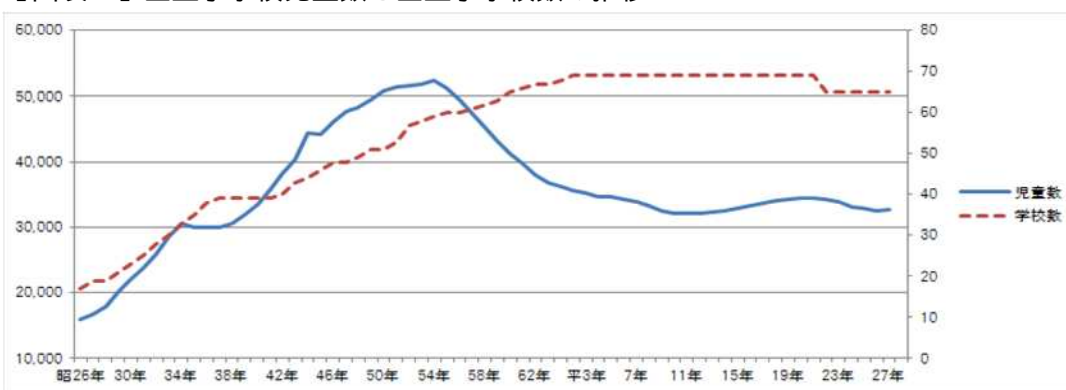
年少人口はこの先緩やかに逓減し、
45年後の平成72年には約17%減と
なります。

2.2.2 児童生徒数と区立小中学校数の推移

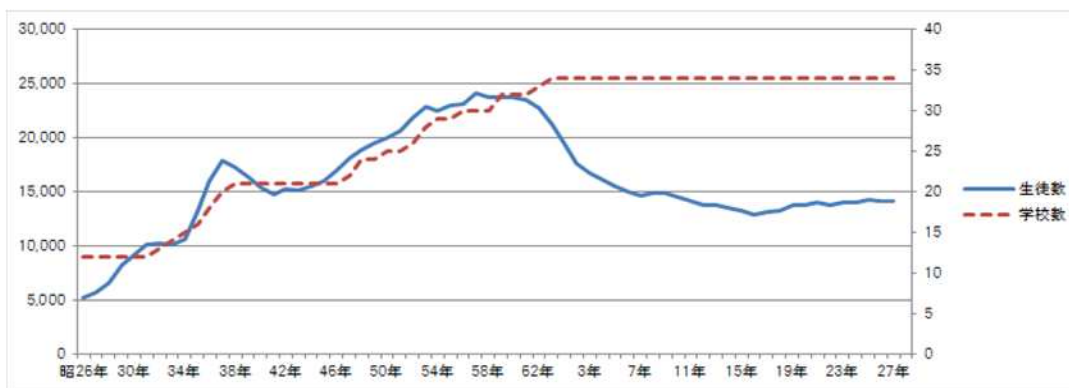
練馬区の児童生徒数のピークは、小学校児童数は昭和54年（52,452人）、中学校生徒数は昭和57年（24,114人）で、その後は減少に転じています。現在の児童数（32,186人）、生徒数（13,748人）はピーク時の約6割となっています。

一方で、学校数は、平成22年度に光が丘地域の小学校8校を4校に統合・再編したことに伴い、小学校は69校から65校に減少しましたが、中学校は34校を維持しています。

【図表4】区立小学校児童数と区立小学校数の推移



【図表5】区立中学校生徒数と区立中学校数の推移



出典：練馬区教育委員会

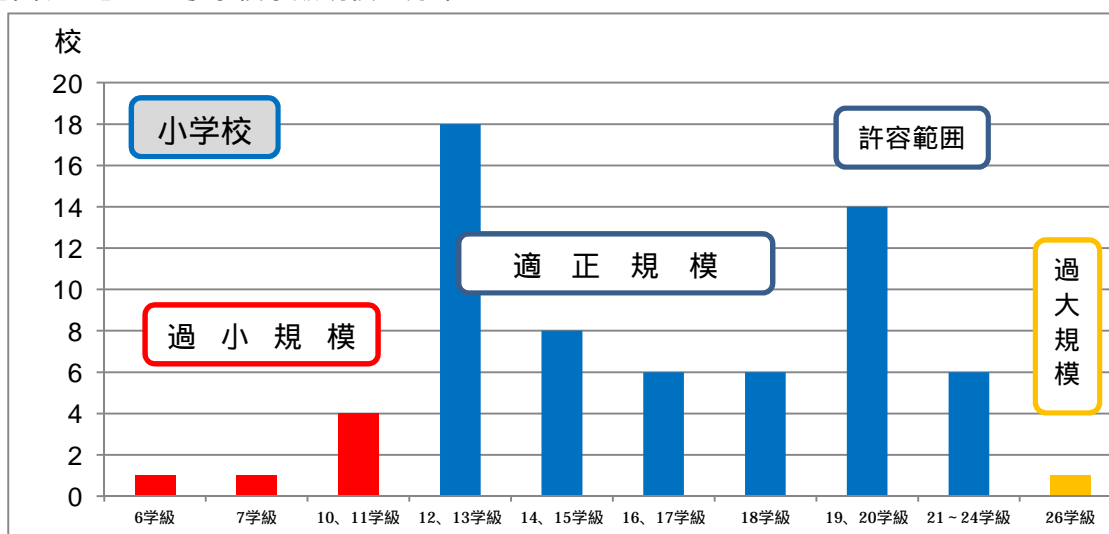
現在の児童生徒数はピーク時の約6割程度となっているが、学校施設数はピーク時とあまり変わっていません。

2.2.3 学級規模の分布

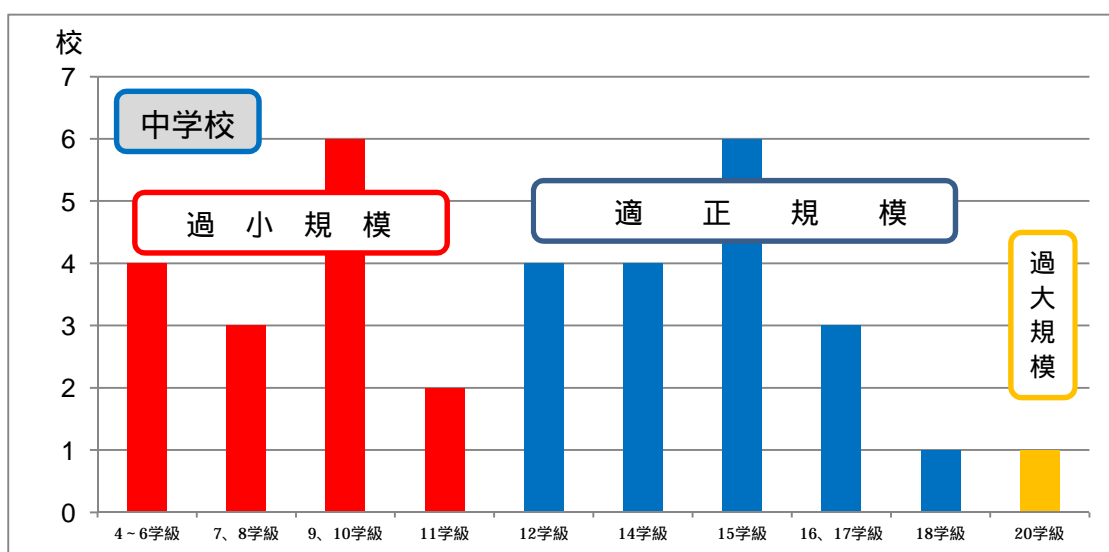
学校教育法施行規則では、小中学校の適正規模は、1校あたり12～18学級とされています。練馬区では、平成17年4月に策定した「区立小・中学校および区立幼稚園の適正配置基本方針」に基づき、小学校の19～24学級は許容範囲としています。平成28年5月1日現在、学級数11学級以下の過小規模に分類される学校は、小学校で6校、中学校で15校となっています。

また、小学校で25学級、中学校で19学級以上の過大規模校に分類される学校は、小中学校各1校となっています。

【図表6】区立小学校学級規模の分布



【図表7】区立中学校学級規模の分布



出典：練馬区教育委員会（平成28年5月1日現在）

2.3 学校施設の建築年次等

2.3.1 学校施設の建築年次

【図表8】学校施設の建築年度一覧

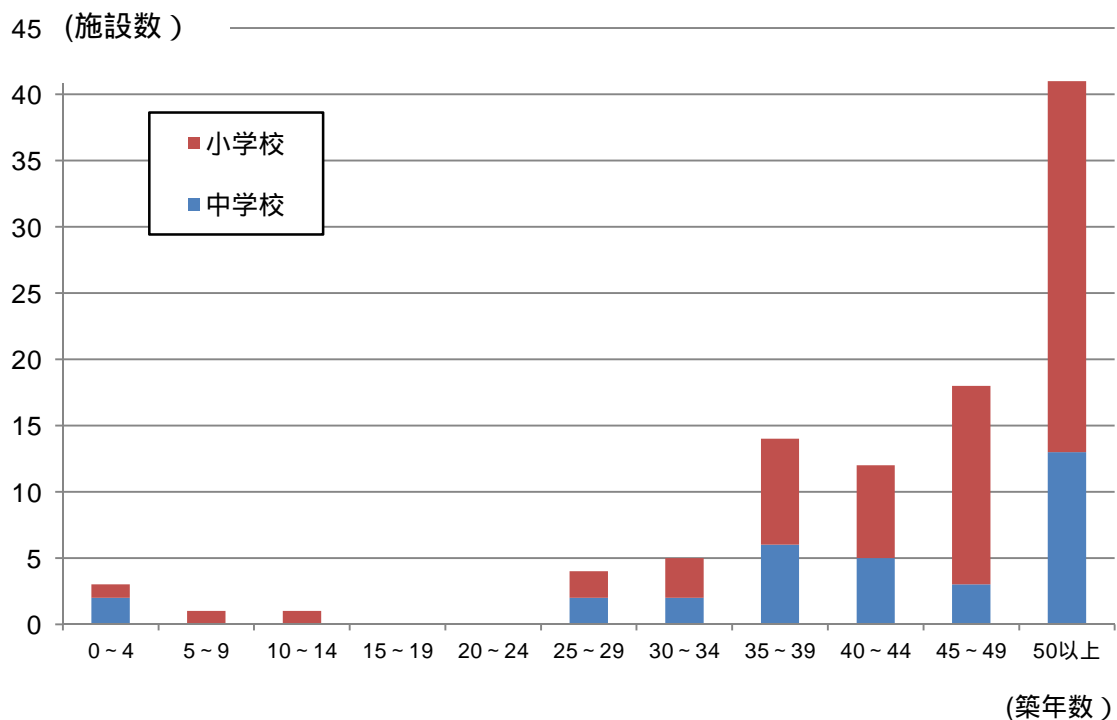
	学校名	建築年度		学校名	建築年度		学校名	建築年度
1	小竹小学校	昭34	36	開進第二中学校	昭41	70	練馬第三小学校	昭51
2	向山小学校		37	豊溪中学校		71	南が丘小学校	
3	上石神井北小学校		38	石神井中学校		72	谷原中学校	
4	田柄中学校	昭35	39	田柄小学校	73	早宮小学校		
5	練馬東小学校		40	石神井東小学校	74	光が丘秋の陽小学校		
6	関町北小学校		41	大泉南小学校	75	石神井台小学校		
7	石神井南中学校	昭36	42	北町西小学校	昭42	76	橋戸小学校	昭53
8	石神井小学校		43	大泉第四小学校		77	石神井東中学校	
9	開進第三中学校	昭37	44	開進第一中学校	昭43	78	三原台中学校	
10	上石神井中学校		45	仲町小学校		79	大泉北中学校	
11	大泉学園中学校		46	高松小学校		80	大泉学園緑小学校	
12	中村西小学校		47	南田中小学校		81	南が丘中学校	
13	豊溪小学校		48	上石神井小学校		82	北原小学校	昭55
14	立野小学校		49	大泉学園小学校		83	大泉学園桜小学校	
15	旭丘中学校	昭38	50	泉新小学校	昭44	84	大泉学園桜中学校	昭56
16	貫井中学校		51	練馬中学校		昭45	85	
17	開進第二小学校		52	田柄第二小学校	86		開進第三小学校	昭57
18	開進第一小学校		53	石神井西小学校	87	光が丘四季の香小学校	昭58	
19	練馬小学校	昭39	54	大泉第六小学校	昭46	88	光が丘第一中学校	昭59
20	大泉東小学校		55	中村中学校		89	光が丘第四中学校	
21	大泉中学校		56	豊玉小学校		90	光が丘春の風小学校	昭62
22	練馬第二小学校		57	南町小学校	91	光が丘第二中学校		
23	大泉小学校		58	下石神井小学校	92	光が丘第三中学校	昭63	
24	豊玉第二小学校		59	八坂小学校	93	光が丘第八小学校	平元	
25	大泉第二小学校		昭40	60	北町中学校	昭47	94	光が丘夏の雲小学校
26	豊玉中学校	61		八坂中学校	95		光和小学校	平16
27	石神井西中学校	62		大泉第二中学校	96		豊玉南小学校	平22
28	北町小学校	63		開進第四小学校	97	谷原小学校	平24	
29	旭町小学校	64		練馬東中学校	昭48	98	豊玉第二中学校	平26
30	旭丘小学校	65		富士見台小学校		99	開進第四中学校	平28
31	豊玉東小学校	昭49	66	大泉西中学校	昭49			
32	中村小学校		67	大泉西小学校				
33	関町小学校		68	大泉北小学校				
34	大泉第一小学校	昭50	69	関中学校				
35	大泉第三小学校							

現在、改築中または改築予定(5校)

6 関町北小学校、8 石神井小学校、20 大泉東小学校、
58 下石神井小学校、66 大泉西中学校

2.3.2 学校施設の建築後経過年数の状況

【図表9】建築後経過年数別



出典：練馬区教育委員会

学校施設は、約4割（41校）が
築50年以上です。

2.4 学校施設の改築・改修にかかる経費

(1) 学校施設の改築費用

改築を実施した小中学校（4校）の改築費用はつぎのとおりです。

【図表10】学校施設の改築の状況について

単位：千円

		豊玉南小学校	谷原小学校	豊玉第二中学校	開進第四中学校
敷地面積		11,468㎡	14,197㎡	11,373㎡	14,586㎡
延床面積		7,783㎡	8,593㎡	5,815㎡	6,850㎡
児童生徒数		493人	582人	189人	341人
学級数		15学級	19学級	6学級	11学級
改築範囲		校舎・プール	全部改築	校舎のみ	校舎のみ
工期		19か月 (平成21年9月 ～ 平成23年3月)	46か月 (平成23年6月 ～ 平成27年3月)	20か月 (平成25年4月 ～ 平成26年11月)	24か月 (平成26年8月 ～ 平成28年7月)
事業費	設計費	64,915	144,956	117,587	136,297
	工事費	2,006,973	3,506,084	2,348,649	2,365,937
	工事監理費	36,435	23,453	54,863	38,198
	仮設校舎費	350,101	-	-	348,732
	合計	2,458,424	3,674,493	2,521,099	2,889,164

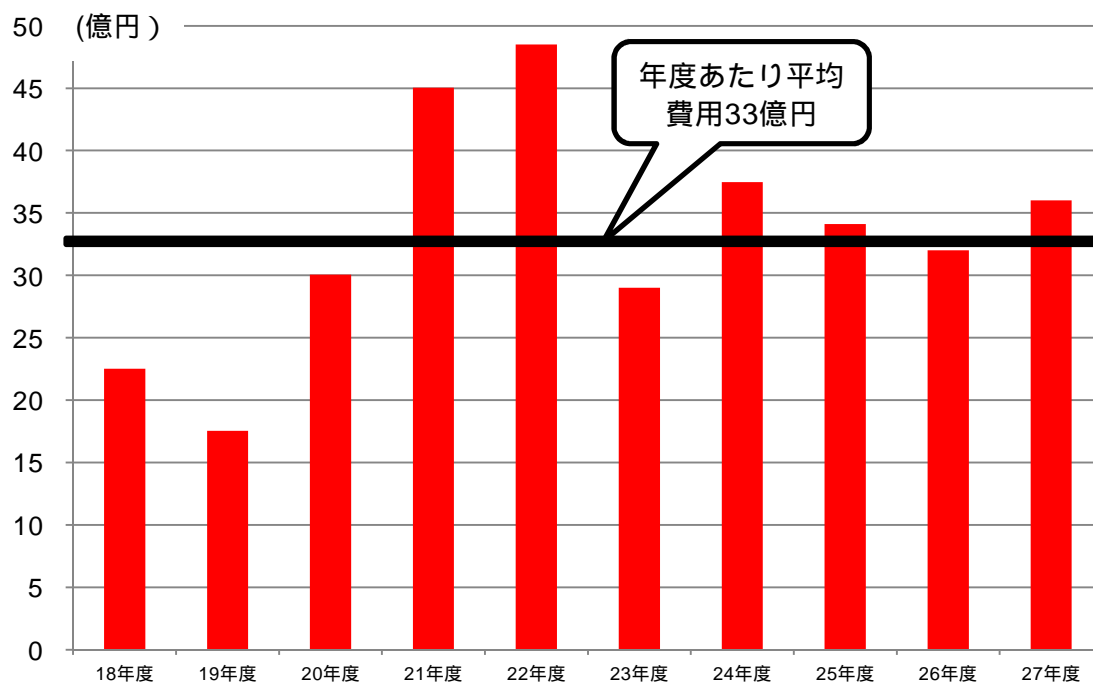
敷地面積・児童数等は平成28年5月1日現在
 工期には、仮設校舎建設（解体）や校庭整備の期間は含んでいない
 全部改築（校舎、体育館、プール、中学校は武道場）

1 校当たりの改築費用は、校舎のみ
 の改築では約 25 億円かかり、全部改
 築で約 36.7 億円かかっていました。
 また、仮設校舎の設置費用は、1 校あ
 たり約 3.5 億円かかっています。

(2) 過去10年間の改築・改修費用

平成18年度から平成27年度までの10年間で、学校施設等の改築・改修に要した工事費は約332億円で、1年あたり約33億円でした。

【図表11】過去10年間の改築・改修工事費



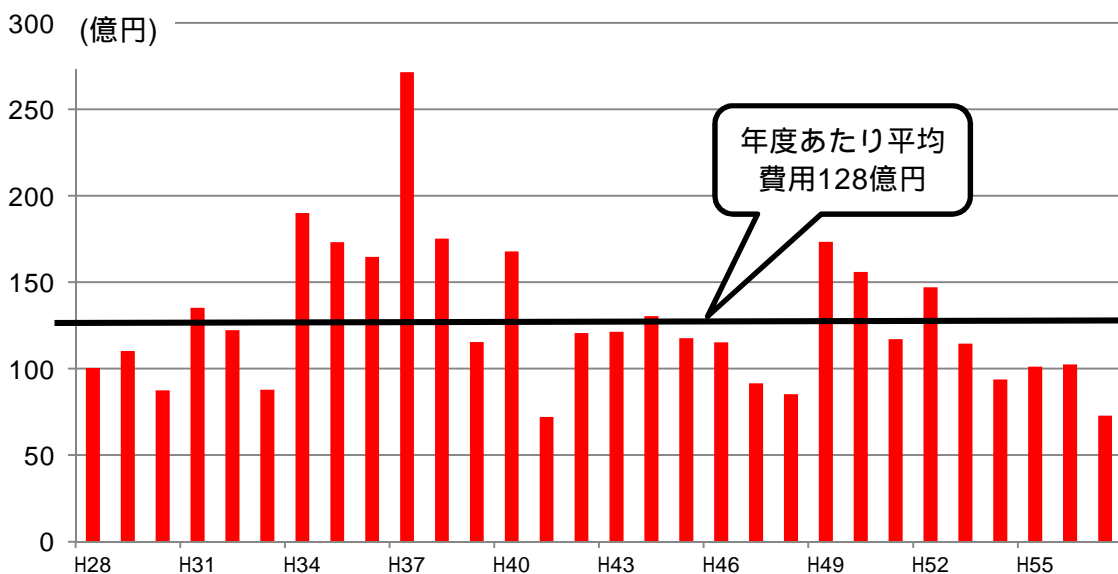
出典：練馬区企画部

過去 10 年間の改築・改修実績の
年間平均費用 33 億円です。

(3) 今後30年間の改築・改修費用試算

現在の学校施設の機能・規模をそのまま維持するものとして試算()すると、今後30年間に必要となる改築・改修費用は、約3,833億円となり、一年あたり約128億円となります。

【図表12】今後30年間に必要となる改築・改修経費



出典：練馬区企画部

【費用の試算】

築15年、30年、45年時に改修(築30年時は大規模改修)を実施し、築60年で改築することとして試算しました。改築工事単価は330,000円/m²、大規模改修工事単価は170,000円/m²、築15年、45年の改修工事単価は127,500円/m²と設定しました。

現在の学校施設をそのまま改築・改修するための年間費用約128億円は、過去10年間の改築・改修実績の年間平均費用33億円を大きく上回ります。

児童生徒数の減少

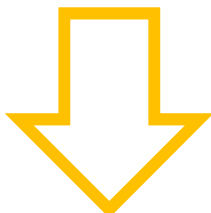
- ・昭和50年代と比べると、児童生徒数は約6割に減少。
- ・年少人口は、今後さらに減少。

学校施設の老朽化

- ・区立施設の延床面積の5割超が学校施設。
- ・築50年以上経過した学校施設が約4割。

学校施設の改築・改修にかかる経費

- ・1校あたりの改築費用は校舎のみで約25億円、全部改築で36.7億円。
- ・今後、改築・改修に年間128億円必要となると試算。過去10年間の実績約33億円を大きく上回る。



児童生徒数が減少するなか、学校施設は老朽化しており、経費の負担を軽減しつつ、学校施設を適切に管理することが求められています。